

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2021年7月26日月曜日 21:03
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH:236] 中部産業遺産研究会 ニュースター 電子メール版 2021年7月26日発行

◆-----◆
中部産業遺産研究会 ニュースター 電子メール版 2021年7月26日発行
◆-----◆

【中部産業遺産研究会 第29回（2021年度）総会の書面開催について】

現在、第29回総会の書面開催に向けて、事務局にて準備を進めております。準備が完了しましたら事務局からのご案内メール、本ニュースターでのご案内を差し上げます。

（準備の方が遅れております。大変申し訳ございません。）

総会の議決権行使もしくは委任については、昨年と同様、Google フォームを利用した専用の記入フォームを用意致します。

総会の書面開催に当たり、中部産業遺産研究会の事務局に登録している情報のうち、特に電子メールアドレスの変更のある方、あった方は至急、事務局までお知らせ下さい。

連絡先

中部産業遺産研究会事務局長 山田貢（メールアドレスが変更になりました）
yamada202102@gmail.com

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】

<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】

<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

2020年11月開催のパネル展のパネル内容をホームページ上に公開していますので、参加できなかった方はぜひ、ご覧下さい。

<http://csih.sakura.ne.jp/panerutenn.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】

【2】 中部産遺研究会報第 83 号の配信について【New】

【3】 兵庫県立歴史博物館所蔵の双頭レールが産業遺産に【再送】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】

●第 169 回定例研究会・見学会

日時 : 2021 年 9 月 26 日 日曜日 13:20～

行き先 : 関鍛冶伝承館

<https://www.city.seki.lg.jp/kanko/0000001558.html>

フェザーミュージアム

<https://www.feather-museum.com/>

刃物会館（時間のある参加者のみの見学になります）

<http://seki-japan.com/guide/>

集合場所 : 岐阜県関市日ノ出町 1-1-7 関鍛冶伝承館入り口（TEL 0575-23-3825）

長良川鉄道 刃物会館前駅から徒歩約 5 分

刃物会館前駅を出て、線路沿いの道を美濃太田方面に向かって 50m 程歩き、国道 418 号線に出たら左折、100m 程東に進み、橋を渡ってすぐ右折し、川沿いに少し歩いたら左側にあります。

集合時間 : 13 時 20 分

交通 : 鉄道の場合 長良川鉄道 美濃太田発（12:54）→刃物会館前着（13:11）

自動車の場合 東海北陸自動車道関インターから約 10 分

駐車場は伝承館北側の臨時駐車場あり。「せきてらす」の駐車場も利用可。

当日の予定 : 「関鍛冶伝承館」で 1 時間ほど見学の後、「フェザーミュージアム」を見学。

時間がある人は「刃物会館」を見学（15:30～16:00 頃に解散）

参加資格 : 当会会員および当会会員と同行する者

その他 : 会場までの交通費および入館料（300 円）は各自負担

事前申込 : 不要

ただし、会員以外の同行者がある場合は研究会事務局まで連絡を
yamada202102@gmail.com

注意事項 : 当日、暴風警報発令などが発令された場合は中止とします

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご入館に際して、以下の事項にご協力お願いいたします。

- ・ご入館の際、体温を測らせていただきます。
- ・手指の消毒にご協力ください。※入口に消毒液を設置しております。
- ・マスクの着用をお願いします。
- ・館内での会話は最小限をお願いします。

- ・館内での長時間の滞在はご遠慮ください。
- ・混雑時は入場制限を行う場合があります。

※以下のお客様は、ご入館をお断りさせていただきます。

1. 発熱（体温 37.5℃以上）や咳、くしゃみ、鼻水など風邪の症状があるお客様や、体調がすぐれないお客様。また、ご家庭や職場など身近に新型コロナウイルス感染症の感染者、もしくは感染の可能性のある方がいらっしゃるお客様。
2. マスク非着用のお客様。
3. その他、見学する場合の密集・密接・密閉・衛生対策が守れないお客様。

（関市鍛冶伝承館 HP からの転載）

●第 170 回定例研究会 2021 年 11 月中旬以降に開催予定（詳細未定）

●シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 39 回 開催延期（日程未定）

【2】中部産遺研会報第 83 号の配信について【New】

中部産遺研会報第 83 号が完成しましたので会員の皆様にご案内致します。
次の URL をクリックして頂くと、PDF ファイルが開きますのでご覧下さい。
http://csih.sakura.ne.jp/kaihou/K83_20210720_20210722.pdf

また、会報のバックナンバーは、
<http://csih.sakura.ne.jp/kaihou.html>
からご覧頂けます。

【3】兵庫県立歴史博物館所蔵の双頭レールが推薦産業遺産に【再送】

兵庫県立歴史博物館（姫路市）は、所蔵する二つの双頭レールが産業遺産学会の推薦産業遺産に認定されたと発表しました。このレールは、旧三越大阪店（大阪府中央区、1917 年完成）の基礎で使用されていたもので、大阪店の解体工事を施工した長谷工コーポレーションが発掘したものです。レールの一つは 1870 年、もう一つは明治 10 年代（1877～86 年）初頭に英国で製造されたもので、我が国の鉄道黎明期の史料としても価値が大きいと評価されました。

通常のレールは上端が丸くそこが平らなのに対し、双頭レールは上下両端とも丸いのが特徴です。日本では 1872 年に鉄道が初めて開業した新橋～横浜間と、1874 年開業の大阪～神戸間で双頭レールを使用しました。1877 年開業の京都～大阪では通常のレール（現在の形状）を使うようになりまし

た。所蔵品のレールに記されたマークから、1870 年の英国ダーリントン社製で、当時の日本政府が発注したことが判明しました。もう一つは、英国シェルフフィールドにあるキャンメルシャが製造

したことがわかりました。1880年開業の天津～京都間で一時的に双頭レールの使用が復活しており、この区間で使われたレールであると判断されました。

双頭レールの発見者は鹿島建設OBの故・高嶋三郎氏で、1969年開業の大阪市営地下鉄（現・大阪メトロ）堺筋線北浜駅の建設に携わり、益に隣接する三越大阪店の基礎に古いレールが使われていることを確認、調査の必要性を訴えていました。

同博物館では本年9月から2023年3月まで休館し、大規模改修工事を行う予定で、その工事が完了したあとに、常設展示品の一つとして双頭レールを見学できるようにするとのこと。

この詳細は、6月に開催された産業遺産学会の研究発表会において、兵庫県立歴史博物館の学芸員、鈴木敬二氏により発表されました。

この内容がYouTubeに動画としてアップロードされましたので、ご案内致します。

<https://www.youtube.com/watch?v=l4DJ0HMAvgg>

--



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様にGoogleグループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018

The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールはGoogleグループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、

<https://groups.google.com/d/msgid/csih/005101d78216%2427a22c70%2476e68550%2440wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。